

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョブトレーニングスクール		
○保護者評価実施期間	7年 3月 10日		7年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	7年 3月 10日		7年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2007年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対象利用者が中高生の為に、進路や将来的な就労への社会へ出ることへの不安が大きくなっている為、情報提供や選択肢等を提供している	近い将来と遠い将来について本人または保護者の持っている情報を収集し、選択肢として色々な面から情報提供を行っている	これまでの卒業生の進路や就労先等の情報提供を行い、皆さんの選択肢を提示する中で検討できるように保護者との面談の機会を設ける。
2	障害者の就労支援や生活の支援経験者や若者サポートステーションでの支援経験者により将来的な就労についての情報が多い	就労についてGATB検査の利用により本人に向いている就労先の選択肢を提示している	職業選択の為に必要なスキルについて支援を増やす。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との情報共有が少ないのではないかと感じている	自己通所の為保護者が迎えに来る事業所よりは情報共有するタイミングが少ない。	ペアレントトレーニングでは複数での活動なので、個別のちょっとした相談等ができるような仕組みを検討する
2	利用対象者が中高生の為、進路についての相談や進路に向けての支援が中心となるが、本人の希望ではなく保護者の希望のみでしるろ選択を希望されることがある。	これまでの実績から選択することがあるので、実績については話をする際には、結果としてではなく過程をしっかり説明する。	スタッフ全体への情報共有を行い、児発管や管理者だけでなく誰が応対しても同じ情報が伝わることと、本人の希望を重視することについても発信していく。
3			